

お借入時にご提出いただいた「事業計画書」の進捗状況をご報告いただくものです。

事業計画進捗報告書 記入例

平成 XX年 XX月 XX日

住所 ○県口市△町1-1-1

事業所名 株式会社 国民商事 国民商事 印
代表取締役 国民 太郎

○収支の状況 (XX年XX月期)

(単位:万円)

	当期の計画値	実績値
売上高	52,420	52,550
売上原価	42,420	42,500
A(うち減価償却費)	0	0
売上高総利益	10,000	10,050
販売管理費	9,444	9,390
B(うち減価償却費)	263	263
営業利益	556	660
C経常利益	200	304
当期利益	190	284

○財務の状況 (XX年XX月期)

(単位:万円)

	当期の計画値	実績値
総資産	13,789	13,883
総負債	12,696	12,696
D(うち社債及び借入金)	7,367	7,367
自己資本	1,093	1,187

・「事業計画書」の定量目標に借入負担年数を10年以下とする内容を掲げている場合は、本欄又は余白欄に、借入負担年数を記入してください。

・借入負担年数は、以下の算式で算出します。

「 $D/A+B+(CX1/2)$ 」(Cが欠損の場合は1/2を乗じません。)

○計画達成のため、今期主に取組んだ事項

- ・今期から、月次の資金繰り計画を作成するとともに、毎月の役員会議において経営状況の共有に努めた。経費管理を徹底した結果、収益は改善し借入負担年数は、17.7年に短縮した。
- ・また、社員教育の充実により担当業務を拡大させ業務標準化に取り組んでいる。

○計画達成できなかった場合(*)の要因および今後の見込み

(*) 当初計画の主要項目に対して、概ね8割を下回る場合をいう。

(以下認定支援機関使用欄)

○実施した実行支援内容(経営環境変化資金の場合は経営指導内容)

- ・これまでは取組んでこなかった月次資金繰り計画を○月から策定し、計画に沿った販売管理がなされているか進捗管理を行った。
- ・経費面では、人件費削減に向け、人員配置の見直しと作業効率策に関する助言を行った。
- ・今後はSWOT分析結果を活用しながら、鮮魚を売りとした地域密着型スーパーとしての強みを発揮した差別化戦略を策定していく予定。

認定支援機関連絡先

電話番号 00-1234-5678

住所 ○県口市△町2-2-2

機関名 XX会計事務所
税理士 ○○ ○○



(担当者) ○○